

# 芦屋市教育大綱(案) Ask what we can create for Ourselves, Ashiya, and the Globe.

## Philosophy (どんな市民を目指すか?) : 自分と地球の未来を、探究と創造を通じて切り拓く市民

- 大きな変化に直面する社会でウェルビーイングに生きるためには、一人ひとりが**未来を切り拓く力**を育む必要がある。
- 未来は、**自分で問題を発見し深める(探究)**、**自分なりの価値を創り出す(創造)**の繰り返しによって切り拓かれる。
- **ともに目指すのは、自分、芦屋、日本、そして地球の未来をも切り拓ける市民になること**である。

そのために

## Concept (どんな教育を目指すか?) : 「ちょうどの学び」とそれを支える環境づくり

- 探究と創造の循環を加速するため、**自分の特性や理解度等を踏まえた、公正で最適な「ちょうどの学び」**を実現する。
- 一人ひとりの未来を創る「学び」の**支え手たる教師が、プロとしての誇りと実力を持ち仕事ができる環境**を創る。
- **市民は、地域の一員として「学び」を支えると同時に、生涯「学び」続け、よりよい芦屋を共創する同志**である。

そのために

## Contents (具体的に何をするか?) : 児童生徒・教師・市民、それぞれにとっての「ちょうどの学び」

### 児童生徒

#### 【個別最適化】

教師の伴走とAI・ICT教育支援ツールの活用により、個性特性や興味関心・理解度等に応じて公正に個別最適化された「**ちょうどの学習内容・学び方**」を実現

#### 【対話・協働・インクルーシブ】

異なる個性や特性・背景を持つ仲間と**対話し、協働的に学び合う環境**を創造

#### 【探究・STEAMS】

自らへの問いから始まる**探究学習・STEAMS教育**で学びへの意欲を引き出す

#### 【主体性】

**自ら学びをデザイン**することで、「**なぜ学ぶのか**」に対する**納得解**を得る  
校則改正をはじめ、**自分たちの社会を自分たちで良くする成功体験**を支援

#### 【国際教養力】

国際文化住宅都市を担う市民に必須の**言語力・文化力・情報リテラシー力**向上

#### 【誰ひとり取り残さない】

不登校や学習障がい・発達障がい等の**学びづらさを抱えた児童生徒**に寄り添う

### 教師

#### 【児童生徒により向き合える環境】

児童生徒により向き合える環境を創るための、**部活動指導の地域移行や外部人材・ICT教育支援ツール**等の活用による**事務作業負担の整理・軽減**

#### 【主体性・専門性】

プロとしての**実力・専門性向上**のための**主体的な探究・創造**を支援

### 市民

#### 【地域と学校の共創】

学校運営協議会を基盤とし、各地域で**スポーツ文化活動・生涯学習**を充実

#### 【市民が主役の芦屋づくり】

芦屋の歴史文化や市民の経験を次世代に継承し、よりよい芦屋に向けて**対話する世代を超えた場・機会**を設け、「探究」と「創造」を**実践**